

おらほのまちづくり支援事業

第5回 みんなの町民憲章虹色アートコンクール大賞決定

かもめの虹色会議（代表：工藤真弓さん）が主催する「みんなの町民憲章虹色アートコンクール」の今年度の大賞が決定しました。

平成26年から始まった同コンクールは、今回で5回目を数えます。作品の募集テーマは、町民憲章本文の全4節で、その中から1節のテーマを選び、アート作品にして応募します。

今回の応募総数は232点と過去最多、応募年齢は2歳から68歳までと幅広い世代から応募があった中から、今年度の各テーマ別大賞が決定しました。

展示会開催

今回応募があった全作品の展示会を開催します。どの作品も力作ばかりですので、ぜひ、ご覧ください。

期間：11月1日(木)～28日(水)

場所：役場1階マチドマ

テーマ1

「海のように広い心で
魚のようにいきいき泳ぐ」



「南三陸の海」
高橋 伶鳳さん

テーマ2

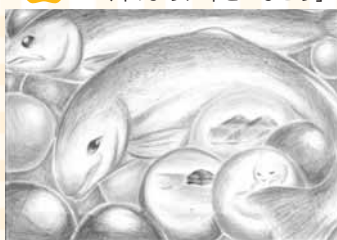
「山のように豊かな愛で
藓のようにみんなを包もう」



「自然と共に生きる町」
佐藤ひま里さん

テーマ3

「空のように澄んだ瞳で
川のように命をつなごう」



「守りたいもの」
西城 晴美さん

テーマ4

「大きな自然の手のひらに
抱かれている町 南三陸」



「I LOVE 南三陸」
佐藤 陽菜さん

毎月11日は「南三陸町安全・安心の日」

～11月11日は「火災の予防に向けた活動を行う日」です～

11月9日から15日は平成30年秋季全国火災予防運動が実施されます

平成30年秋季全国火災予防運動

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

平成30年度全国統一防火標語 『忘れてない？ サイフにスマホに火の確認』

全国では、火災による死者は毎年1,500人前後にのぼっています。火災による被害をなくすために、火災が起きる原因を知り、日頃から注意すること、そして万が一出火したときに、どのような行動をすべきか覚えておきましょう。火災による被害を少なくしていくために、家族や地域ぐるみで防火意識を高めましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



☎ 総務課危機対策係 ☎ 46-1376

少しでも役立ててください

10月2日(火)、伊里前小学校は、豪雨で被災した山形県庄内町と北海道胆振東部地震で被災した北海道に対して募った義援金を町に預けました。

庄内町では、8月5日から6日にかけて局地的な豪雨に見舞われ、町の施設であるカートソレイユ最上川が水没したほか、床上浸水や山が崩れるなどの被害がありました。

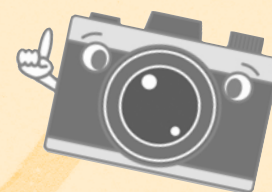
また、9月6日(木)北海道胆振地方中東部を震源として発生した北海道胆振東部地震は、最大震度7を観測。厚真町をはじめ、多くのまちで、住宅の倒壊や道路の損壊が相次ぎ、多数の死傷者を出しました。

伊里前小学校では、被災した庄内町と北海道に対し児童会が中心となって募金活動を展開。寄せられた義援金（庄内町12,117円、北海道20,598円）は、この日、同小学校教諭の三浦洋司さんから保健福祉課職員へと手渡されました。

今回、募金活動を行った計画委員会委員長の阿部有希さんは、「子どもから保護者まで、募金に協力いただき感謝しています。この募金で被害に遭われた方が少しでも楽になるよう役立ててほしいです」と話しました。



みな
レポ



これからも元気で過ごしてくださいね

長年にわたり社会に貢献されてきた皆さんに敬意を表するとともに、長寿をお祝いする平成30年度敬老会を9月25日(火)から27日(木)の日程で開催しました。

今年度の敬老会対象者（数え年で77歳以上）は、男性904人、女性1,567人の計2,471人。最高齢は、戸倉地区の女性で103歳でした。

参加者は、各種団体によるお祝いの琴や踊りなどの演芸、そして、友達同士昔話に花を咲かせるなど、つかの間のひとときを楽しみました。

これからも元気でいつまでも若々しく過ごしてくださいね。

